

特開 2023-013908 2023 年 1 月 26 日 特願 2021-202927 2021 年 11 月 24 日 優(JP)2021/137539 2021 年 7 月 16 日	A61K 33/00 A61P 21/00 A61P 25/00 A61P 29/00 A61P 19/02 A61P 11/04 A61P 25/06 A61P 25/28 A61P 1/04 A61P 31/16 以下、11 件。	筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) および/または線維筋痛症 (FM) の改善および/または症状の悪化を抑制するための組成物 【要約】 【課題】 副作用の少ないかつ簡便に製造し得る新しい筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) および/または線維筋痛症 (FM) の症状改善のための組成物を提供する。	MiZ 佐藤 文武 武藤 佳恭 山村 隆 佐藤 文平 平野 伸一	
	分類 DAAB: 中枢神経系に作 DAAK: 抗抑うつ剤 DABE: 抗炎症剤	DAAL: 鎮うん剤 DABF: 抗アレルギー剤	DAAE: 催眠剤, 鎮静剤 DAAM: 脳機能改善剤 DABG: 抗リウマチ剤	DAAG: 解熱剤 DAAN: 抗精神神経症剤 DABL: 眼科用剤

【特許請求の範囲】 請求項の数 7 審査請求 有

2023 年 1 月 26 日発行

【請求項 1】

水素ガス含有気体を有効成分として含む、筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) 患者および/またはおよび/または線維筋痛症 (FM) 患者において、筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) および/または線維筋痛症 (FM) を原因とする症状を改善および/または症状の悪化を抑制するための組成物。

【請求項 2】

前記筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) を原因とする症状が、少なくとも疲労感、倦怠感、労作に伴う息切れ、動悸、筋力低下、微熱、筋肉痛、関節痛、咽頭痛、頭痛、身体の痛み、全身の痛み、脱力、認知機能障害、記憶障害、言語検索困難、胃腸障害、集中力低下、インフルエンザ様症状、起立時のめまい、虚弱、不規則な体温、冷たい手足、温熱および/または寒冷に対する不耐症、発汗、顔面潮紅、リンパ節圧痛、著しい体重の変動、耳鳴り、錯乱、睡眠障害、立ちくらみ、めまい、光や騒音や臭気に対する過敏性、食物や薬物や化学物質に対する新たな過敏性の獲得、脱力感、労作後の疲労感、徐脈、血圧低下、吐き気、ブレインフォグ、および/または、これらの症状に伴う活動レベルの低下を含む請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記線維筋痛症 (FM) を原因とする症状が、少なくとも、38℃以下の微熱、疲労感、倦怠感、脱力感、手指のこわばり、手指の腫脹、関節痛、レイノー現象、寝汗、過敏性腸症候群、動悸、乾燥症状、呼吸困難、嚥下障害、間質性膀胱炎様症状、生理不順、月経困難症、体重変動、光線過敏症、寒暖不耐症、顎関節症、低血圧、各種アレルギー症状、僧帽弁逸脱症、かゆみ、四肢のしびれ、手指のふるえ、めまい、耳鳴り、難聴、視力障害、抑うつ症状、不安感、焦燥感、睡眠障害 (過眠、不眠)、集中力低下、注意力低下、健忘、起床時の不快感、筋力低下、思考力・集中力・記憶力の低下、音に対する過敏性、ブレインフォグ、および/または、これらの症状に伴う活動レベルの低下を含む請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) の原因がウイルス感染であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記水素ガス含有気体の水素濃度が、ゼロ (0) より大きく

18.5 体積%以下である、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記組成物が、吸入によって前記患者に投与される、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の組成物を作製する方法であって、前記組成物が水素ガス生成装置を用いて作製されることを特徴とする方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、ヒト患者において筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS: Myalgic Encephalomyelitis/Chronic Fatigue Syndrome) および/または線維筋痛症 (FM: Fibromyalgia) の症状、例えば、疲労、頭痛、身体の疼痛、思考力の低下、集中力の低下、および/または、これらの症状に伴う活動レベルの低下などの症状を改善および/または症状の悪化を抑制するための組成物に関する。

本発明はまた、ヒト患者において筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) および/または線維筋痛症 (FM) の上記症状を改善および/または症状の悪化を抑制する方法に関する。

【背景技術】

【0002】

筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) は、発症の時期が明確であり、感染症や生活関連ストレス、転倒や打撲などによる重度の怪我などをきっかけにして、激しい全身倦怠感に襲われ、長期にわたり疲労感、労作後に憎悪する極度の倦怠感、微熱、頭痛、筋肉痛、脱力、認知機能障害、回復感を伴わない睡眠、立ちくらみなどの多彩な症状が現れる。線維筋痛症 (FM) は、原因不明の全身の疼痛を主症状とする。疼痛は腱付着部炎や筋肉、関節などにおよび、体幹や四肢から身体全体に激しい疼痛が広がる疾病である。

筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) も線維筋痛症 (FM) も、いずれの症状も筆舌に尽くしがたいものであるため、筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) および/または線維筋痛症 (FM) (以下略)